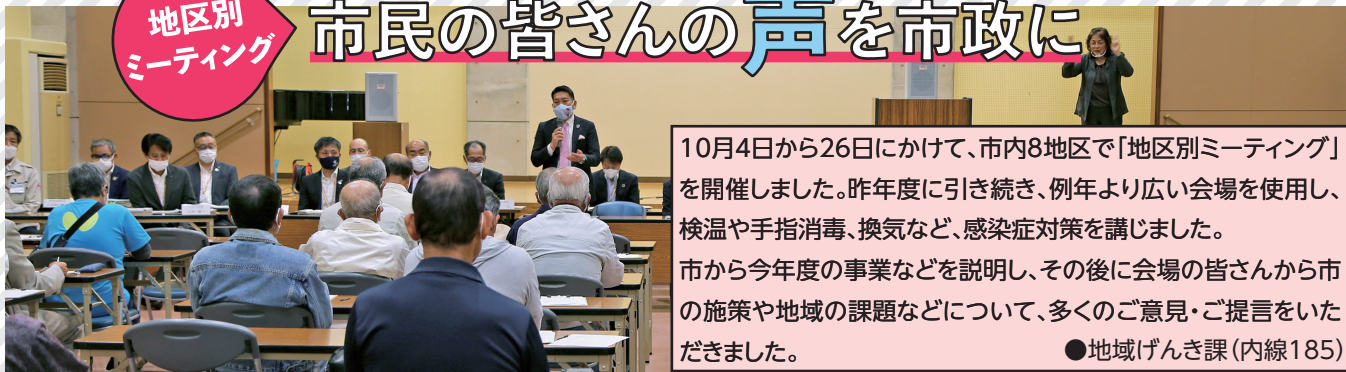




10月4日から26日にかけて、市内8地区で「地区別ミーティング」を開催しました。昨年度に引き続き、例年より広い会場を使用し、検温や手指消毒、換気など、感染症対策を講じました。

市から今年度の事業などを説明し、その後に会場の皆さんから市の施策や地域の課題などについて、多くのご意見・ご提言をいただきました。

●地域げんき課(内線185)

市からの主な事業説明

●新庁舎建設

建設地は、地質調査や新庁舎建設候補地検討委員会などで協議を重ねた結果、総合的に評価が高い市民プールとします。令和5年度に設計業務に着手し、令和7年度に着工、令和10年度の供用開始を目指します。

現庁舎は、行政機能の分散化により市民サービスの低下を招いているため、上下水道局などを新庁舎へ集約します。

新庁舎の規模は約2万平方メートルと想定し、建設工事費は105億円、総事業費は134億5千万円の見込みです。財源の内訳は、市債は発行せず、モーターボート競走事業収益基金の活用を検討しています。

新庁舎建設に伴う各施設(プール施設など)の整備などについては、国の補助金などの活用も含め、効率性や利便性が高い施設になるよう総合的に検討を進めます。

11月に実施した市民アンケートの結果は、広報おおむら2月号に掲載予定です。

●西九州新幹線

9月23日にリレー方式の運行形態で開業しました。西九州新幹線

唯一の車両基地が整備され、在来線2駅が新設されました。

料金と所要時間は、新大村〜長崎が1630円で15分から17分、新大村〜博多が4380円で1時間11分から1時間35分です。運行ダイヤは、武雄温泉〜長崎が1日47本運行され、新大村駅に1日40本が停車し、始発は6時台、最終は23時台です。

新大村駅前市有地開発事業は、令和4年1月に大和ハウス工業(株)、(株)日本エスコン、(株)イズミの3社で構成されるグループを事業予定者に決定し、売却予定地地盤整備工事を進めています。令和5年4月以降に工事着工し、2年程度で完成予定です。商業施設3区画、集合住宅2区画を予定し、本市初出店となる(株)イズミ「ゆめマート」の出店が決定しています。

●新型コロナウイルス接種

2回目接種済みの12歳以上の人を対象にオミクロン株(BA.4・5)対応型ワクチンを使用し、市内医療機関で個別接種、ボートレース大村イベントホールで集団接種を実施しています(1月からは中地区公民館でも実施)。

●高齢者インフルエンザ予防接種

今年の冬は新型コロナウイルス

感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されています。高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担額を2270円から1800円に引き下げましたので、積極的なワクチン接種をお願いします。

●オスプレイの飛行訓練

7月25日から九州地区で開始され、海上自衛隊大村航空基地には、7月26・27日に飛来しました。九州防衛局から、当面の訓練頻度は年間数回程度と説明を受けており、本市としては、市民の安全安心が最優先であることから、飛行時の安全対策の徹底や環境への配慮などをお願いするとともに、市民が不安を抱かないよう、適切な情報提供と安全な運用について、引き続き国に対して要望していきます。

●環境センター焼却炉の全炉復旧

9月22日に全ての焼却炉が復旧しました。焼却施設の復旧とごみ処理にかかる経費は、合計で17億8076万4千円で、そのうち4億7987万4千円は、老朽化などに伴う補修工事費で、火災事故に直接関係する経費ではありません。

焼却炉の停止により県内と佐賀県のごみ処理施設15カ所に協力をいただき、本来環境センターで処理する量の49.2%を処理していただ

きました。また、令和3年度の燃やせるごみの搬入量は、令和2年度と比較し約6.8%減少しました。

市民の皆さまには長期間にわたり、ご心配とご迷惑をおかけしました。また、ごみの分別と減量にご協力いただき、感謝申し上げます。

●未来へつなぐ学校教育プロジェクト

多様な人たちが互いを認め合うとともに、それぞれの持ち味を発揮して生き生きと活躍し、みんなが温かく包み込まれる社会を目指すという考え方に基づき、3つのプロジェクトに取り組んでいます。

「自信をもたせる学習評価の実施」では、子どもたちが自信をもつような学習評価の在り方について研究し、学習評価の客観性と信頼性が保たれるようにします(令和5年度改善予定)。「中学校統一型制服の導入」では、広く意見を求めながら性差によらないデザイン、学校間の価格差の是正、再利用の促進などを実現する新しい制服を検討し、ふるさと大村を愛する心の育成につなげます(令和6年度導入予定)。「学校規模の適正化」では、市内どの学校に通学しても同水準の教育を受けることができるようにし、学校を核とした地域コミュニティの活性化につなげます(令和7年度導入予定)。



各地区でのご意見・ご提案

●農道に防火水槽を設置して初期消火ができるようにしてほしい。

市内全域に初期消火が難しい場所があると考えられるため、水道管路の状況などを調査し、今後どのような対策ができるか検討します。

●新たな工業団地の計画はありませんか。

第2大村ハイテクパークは残りの2区画が決定していないため、まずはそこに誘致し雇用の創出を図ります。新たな工業団地については、場所や水の問題もありますが、業種やタイミングを見ながら進める必要があると考えます。3つ目はまだ決定していませんが、ご意見を参考に検討したいと考えています。

●学校給食の食の安全と向上について、どのような取り組みをしますか。

1日1万1000食作っており、安全、安心な給食を提供することを常に意識し、食材を調達、調理、提供しています。また、可能な限り、地産地消にも努めています。全国学校給食甲子園で3位を受賞しているため、大村の給食は充分おいしいものと認識しています。

●中学校統一型制服について、多様性を大切にするのであれば性差のない制服ではなく、私服にしては？

今回の統一型制服については、6千あまりのアンケートの結果も踏まえ、男女の性差をなくすこともですが、一人も取り残さないで学校生活を送ることも重要と考えています。今後も制定委員会デザイン性も含めて検討していきます。

●現在の市役所の跡地をどのように計画していますか。

跡地については未定ですが、文化会館や新しい体育館、武道館などの意見があるので、今後、総合的に検討していきます。

●プール施設はどこに集約されますか。

市民プールと屋内プールを併せて、プールの在り方を検討しています。また、環境センターの焼却熱を利用する場合は環境センター周辺となりますが、まだ決定はしていません。

●新大村駅の乗降客が少ない。観光客を多く呼ぶような施策は検討されていますか。

今後はウォークラニー、マラソン、自転車など、新幹線と絡めたさまざまな施策を企画していきます。

※1月に「ONSEN・ガストロノミー」という全国規模のまちあるきイベントを新大村駅で開催。

●デジタル庁が令和6年までにマイナナンバーカードと健康保険証を一体化するとの話をしてしたが、大村市ではマイナナンバーカードがどのくらい普及しているのか。また、高齢者に対する進め方を検討していただきたい。

本市のマイナナンバーカードの交付率は9月末現在で59%、全国は49%です。3月に大村未来都市構想、大村市DX推進計画を策定しており、デジタル化を進めていくこととしています。その中でもマイナナンバーカードの交付を早急に進めていくとしており、デジタルをうまく使えない人への支援も進めています。

●国や県にも働きかけて、介護職を「若い人が希望を持てる職業・職場」として環境整備をしていただきたい。

現在、市内の高齢化率は県内自治体の中でも低いですが、今後必ず高齢化は進むので、その前に、介護人材の育成確保に努めていきたいと考えています。国と県と連携しながら、一度就職したら離職しないような環境整備に努めていきます。

▲地区別ミーティング参加者数
合計372人(前回367人)

とき	地区	ところ	参加者数(前回)
10月4日(火)	松原	松原小学校 体育館	29(33)
5日(水)	三浦	三浦かんさく会館	57(49)
11日(火)	萱瀬	萱瀬小学校 体育館	38(46)
12日(水)	竹松	郡コミセン 多目的室	45(40)
14日(金)	福重	福重小学校 体育館	35(48)
17日(月)	大村	市コミセン 大会議室	49(50)
20日(木)	鈴田	鈴田小学校 体育館	54(58)
26日(水)	西大村	中地区公民館 大会議室	65(43)

